

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	寺田 実		
居室	西2-611		

公開E-Mail	授業関連Webページ
terada (at) ice.uec.ac.jp	<a href="http://pr.ice.uec.ac.jp/~terada/lectures/literacy/2009/">http://pr.ice.uec.ac.jp/~terada/lectures/literacy/2009/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>コンピュータの利用方法を学ぶ。</p> <p>デジタルネットワークインフラが整備され、コンピュータの利用技術は計算や文書処理からコミュニケーション手段を包含した情報処理に広がってきている。</p> <p>そこで、本授業では、コンピュータシステムの基本事項を理解することに加え、このような情報ネットワーク社会における、情報の生成・共有・伝達のためにコンピュータを積極的に活用できるようになることを目的とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
特に指定しない。

【授業内容とその進め方】

授業では総合情報処理センターを利用し、WWW教材の自習と演習を行う。このため、自分のペースで理解を深めることができる。

また、個別学習を支援する体制として、授業担当教官のほかに、Teaching Assistant(TA)が学生の疑問に十分答えられるように配慮されている。

以下の項目について、演習を中心とした学習を行う。

- 1 WWW, 情報検索
- 2 ファイル
- 3 電子メール
- 4 図、グラフの作成
- 5 文書作成 (Latex)
- 6 UNIX
- 7 情報セキュリティ, 著作権

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

事前に教材ウェブページを読んでから授業に望むことを勧める。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法:

授業には特別な事情がない限り出席すること。演習課題のレポートはすべて提出すること。これらの条件を満たした学生について、期末試験の結果によって成績をつける。

評価基準:

授業で取り上げた各種の利用操作を習得していること  
(編集, 日本語入力, メール, ファイル管理, 文書作成など)

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

しっかりやってください。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
なし。